

平成30年度

やまぐち6次産業化・農商工連携人材育成研修

事業報告書

平成31年3月

公益財団法人やまぐち農林振興公社

やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター

はじめに

当社は、県からの委託を受け、平成24年7月に6次産業化サポートセンターを開設しました。その後、平成26年7月に6次産業化と農商工連携を一体的に推進するサポートセンターとして拡充し、県産農林水産物を活用した商品開発や首都圏等への販路開拓等の取組みを積極的に支援しているところです。

本研修は、その取組みの一環として、一昨年度から継続して実施しているもので、それぞれの地域で6次産業化等の取組みを具体化できる経営感覚を持った実践力の高い人材を育成することを目的としています。

そのため、カリキュラムの編成に当たっては、受講者各自が、研修の受講や現地研修を通じて、より具体的な実現性の高いビジネスプランを作成・発表することを最終目標として、研修内容を6次産業化等の基礎的な講義から商品開発、加工、ブランド戦略、マーケティング等の専門的な講義、さらには、インターンシップを組み合わせる体系的な構成とし、県内外からそれぞれの専門家である著名な講師を招聘することにより、6次産業化等の取組みに必要な知識・技術等が網羅的に習得できるように努めたところです。

本年度の研修には、農業や食品加工業に就業し6次産業化等による規模拡大に意欲を持っている方やこれから取組みを始める方など、幅広い方々の参加をいただきました。そして、研修最終日には、研修の集大成としてのビジネスプランを作成・発表していただきました。

それぞれのビジネスプランが結実し、魅力ある商品開発や販路開拓へつながるよう、当センターとしても、関係機関のお力添えをいただきながら、研修修了後の支援をして参りたいと考えています。

本報告書は、研修の実施を記録として残すとともに、研修内容を紹介することにより、6次産業化・農商工連携の推進を担う人材育成研修を広く周知することを目的としております。

各種機会を利用し、広く活用していただきますようお願いしています。

平成31年3月

公益財団法人 やまぐち農林振興公社

(やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター)

理事長 服部 一朋

— 目 次 —

1 人材育成研修の概要	1
2 人材育成研修の実施状況	2
3 研修で作成・発表されたビジネスプラン事業名	13
4 受講者の応募状況、修了状況	14
5 アンケート調査の結果について	15
(資料)	
1 人材育成研修実施要領	17
2 シラバス	19
3 募集チラシ	21

平成30年度 やまぐち6次産業化・農商工連携人材育成研修の概要

1 目的

6次産業化や農商工連携の取組みを促進するため、専門家や先進的に6次産業化に取り組んでいる事業者等による講義とインターンシップを効果的に組み合わせた研修を実施することにより、経営感覚を持った6次産業化や農商工連携の取組みを具体化できる新たな人材の確保や実践力の高い担い手の育成を図ることを目的とした。

2 受講対象者

6次産業化や農商工連携に意欲的に取組みたい者、又は経営発展を目指す者
(農事組合法人等での申込も可能)

3 受講方法の種別

受講に当たっては、一般受講を原則としたが、特定の講座を選択して受講する特別聴講、開講に当たり広く受講者を募集する公開講座も合わせて実施した。

今年度は漁業者の参加を考慮し、県下一斉休漁日であった7月21日の土曜日にも開催した。

(1) 一般受講

全講座の受講を原則とするが、最低でも、全講座の8割以上(必修講座は全講座)の受講が必要であることとした。研修を通じてビジネスプランを完成し、研修最終日に発表することを目標とした。

(2) 特別聴講

一般受講に限定した講座以外の中から、あらかじめ2講座以上を選択・登録し、受講できることとした。

(3) 公開講座

講座内容に関心を持つ者が広く受講できるよう、2講座について、別途受講者の募集を行い、公開講座として開放した講座とした。

4 講義・研修方式の種別

研修は、講義・ワークショップ、現地研修、インターンシップを組み合わせ実施した。今回は、受講者が相互の意見交換や実習を通じて、主体的に参加する研修を強化することとし、連続して4回実施するワークショップ方式での研修を組み込んだ。

(1) 講義・ワークショップ

講師が提供する資料等に基づき、講義・グループ実習等により実施した。

(2) 現地研修

加工施設等の施設見学や先進的な取組み状況について説明等を受けた。

(3) インターンシップ

収穫(製造)、商品加工、販売等へ従事することにより、より実践的な知識・技術を習得した。

5 研修日程等

平成30年5月29日(火)～平成30年12月12日(水)

6 カリキュラムの概要等

(1) 講義・現地研修・公開講座

実施要領に定める「カリキュラムの概要」のとおり、実施した。

(2) インターンシップ

9月25日から11月30日の間で、次の受入事業者の協力により実施した。

(株)木原製作所(山口市)、農事組合法人つかり(光市)、

(有)鹿野ファーム(周南市)、楠むらづくり(株)(宇部市)、

石戸味噌醸造場(萩市)、須々万加工場グループ(周南市)、(株)農多(平生町)

6 カリキュラムの概要

(1) 講義

日 時		場 所	講座名	講 師	●必修 ○選択
5/29 (火)	10:30～11:00	防長苑 (山口市)	開講式・オリエンテーション	事務局	●
	11:00～12:00		オリエンテーション・自己紹介	(株)トータルオフィス・タナカ	
	13:00～14:30		6次産業化概論	田中美智子	
	14:40～16:10		ビジネスプランの必要性	田中美智子、総合プランナー	
6/12 (火)	10:30～12:00	防長苑 (山口市)	事例から学ぶ6次産業化の取組み方	(株)パイロットフィッシュ 五日市知香	○
	13:00～14:30		商品デザイン・パッケージデザイン	(株)無限 竹岡絵美	○
	14:40～16:10		6次産業化・農商工連携におけるマーケティング	やまぐち総合研究所(有) 中村伸一	○
6/26 (火)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	食品安全リスクマネジメント	SOMPOリスクアマネジメント(株)	○
	13:00～16:10		収支計画立案の基礎 ～原価計算ほか～	はら経営(株) 原義夫	○
7/10 (火)	10:30～12:00	県農林総合技術センター (山口市)	【現地研修】 6次産業化に役立つ食品加工事例	県農林総合技術センター	○
	14:00～16:10	県産業技術センター (宇部市)	【現地研修】 研究現場における加工の実際	県産業技術センター	○
7/21 (土)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	知的財産管理 ～商標権を中心に～	(公財)やまぐち産業振興財団 (山口県知財総合支援窓口)	○
	13:00～14:30		【公開講座】 新商品企画・開発の基本	(特非)日本フードコーディネーター協会	●
	14:40～16:10		新価値創造のためのアイデア着眼・発想	和泉守計	●
8/9 (木)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	【公開講座】 県外先進事例に学ぶ	(株)アグリゲート 左今克憲	●
	13:00～16:10		新商品・新サービスの開発方法①	フーズテクニカルサービス 弘蔵周子	●
8/21 (火)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	食品加工の基礎知識～商品開発・販路拡大につながる技術～	フーズテクニカルサービス	○
	13:00～16:10		新商品・新サービスの開発方法②	弘蔵周子	●
9/11 (火)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	食品表示実務のポイント	フーズテクニカルサービス	○
	13:00～16:10		新商品・新サービスの開発方法③	弘蔵周子	●
10/16 (火)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	フード・コミュニケーション・プロジェクト		●
	13:00～16:10		新商品・新サービスの開発方法④ ～FCPシート作成～	農林水産省FCP事務局	●
11/13 (火)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	振り返りとビジネスプランの作成	(株)トータルオフィス・タナカ 田中美智子	●
	13:00～16:10		6次産業化・農商工連携関係業務の概要	県ぶちうまやまぐち推進課	
12/12 (水)	10:30～12:00	翠山荘 (山口市)	ビジネスプランの最終調整	(株)トータルオフィス・タナカ	●
	13:00～16:10		ビジネスプランの発表、評価、振り返り 閉講式	田中美智子 事務局	●

※都合により講師や内容等が変更になる場合がある。

(2) インターンシップ(必修)

6次産業化認定事業者等での販売や加工の実習 (9月～11月)

2日間

*可能な範囲で、研修者の意向等を踏まえ研修先を調整する。

(3) 受講に当たっての注意事項

ア 一般受講者は、原則、全講座の受講とするが、最低でも、必修講座及びインターンシップを含む全講座の8割以上の履修を必要とする。

イ ビジネスプランの作成・発表では、パワーポイントを使用する。各自パソコンを準備すること。

ウ 特別聴講を希望する者は、受講を希望する講座を2講座以上選択し、講座番号を申込書に記載し、提出すること。